

令和6年度 職員提案の実施結果について

1 職員からの提案の募集

令和6年4月30日（火）から5月31日（金）までの期間で職員から提案を募集したところ、50件の応募があった。

なお、提案者は41名で、内訳は以下のとおり。

- ① 所属：本庁18名、出先23名
- ② 職位：主幹1名、班長1名、副主幹2名、主査4名、副主査10名、主事7名、技師2名、主任上席児童福祉司2名、児童福祉司1名、普及指導員7名、普及技術員3名、上席研究員1名

2 本審査（知事へのプレゼンテーション）等を経て、選定された提案

- ① デジタル・ユニバーサルデザイン ～誰もが活躍できる多様性豊かな千葉県庁の職場づくりを目指して～

障害のある職員のデジタル技術の利用を支援する職員を配置し、「デジタル『による』/デジタル『の』ユニバーサルデザイン化」を目指す。障害のある職員が本来の能力を発揮し、働きがいを持って幅広い職務に従事できるようにする。

- ② 千葉県版クロスメンター制度

所属を超えて、条件に合う先輩職員（メンター）を後輩職員（メンティ）が指名できるクロスメンター制度を導入し、職員が幅広い支援を受け、一人ひとりが安心して能力を発揮できる環境づくりを推進する。

- ③ EBPM（RCT）の実践 ～税の徴収率・キャッシュレス化の向上に向けて通知文書の発送方法をデザインする～

ナッジを活用して、督促やキャッシュレス化の広報を行うとともに、RCT（ランダム化比較試験）によりその効果を実証するために、滞納者や個人事業者、法人をランダムにグループ分けし、ナッジを活用した広報物とナッジを活用しない広報物の異なる発送物を送付して、徴収率・キャッシュレス化率を比較する。

3 今後の流れ

関係課による事業化または実施に向けた検討を行っていく。